

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

食道静脈瘤患者に対する内視鏡的超音波カラードップラー法（ECDUS）を用いた門脈血行動態評価の臨床的意義の検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 竹下 英次（愛媛大学大学院 地域消化器免疫医療学 准教授）

【研究の目的】

食道静脈瘤は致死的な消化管出血を引き起こす病気です。食道静脈瘤は内視鏡治療を行うことで静脈瘤の破裂や重症化を予防することが出来ますが、治療後に静脈瘤の再発を繰り返す症例もあり、症例に応じて再発を減らす治療戦略を立てる必要があります。そこで、過去に当院を受診された食道静脈瘤患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は食道静脈瘤における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2011年1月1日から2025年12月31日まで愛媛大学医学部附属病院に入院して食道静脈瘤の内視鏡治療を行なった患者さんのデータを使用します。特に、治療前に内視鏡的超音波カラードップラー法（ECDUS）を施行した患者さんのデータを中心とした研究を行います。

（利用するカルテ情報）年齢、性別、身長、体重、肝疾患、肝疾患に対する治療

歴、併存疾患、血液検査データ、内視鏡検査データ、合併症・偶発症、非再発期間、生存期間 等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学 氏名 橋本 悠

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学 橋本 悠

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5308